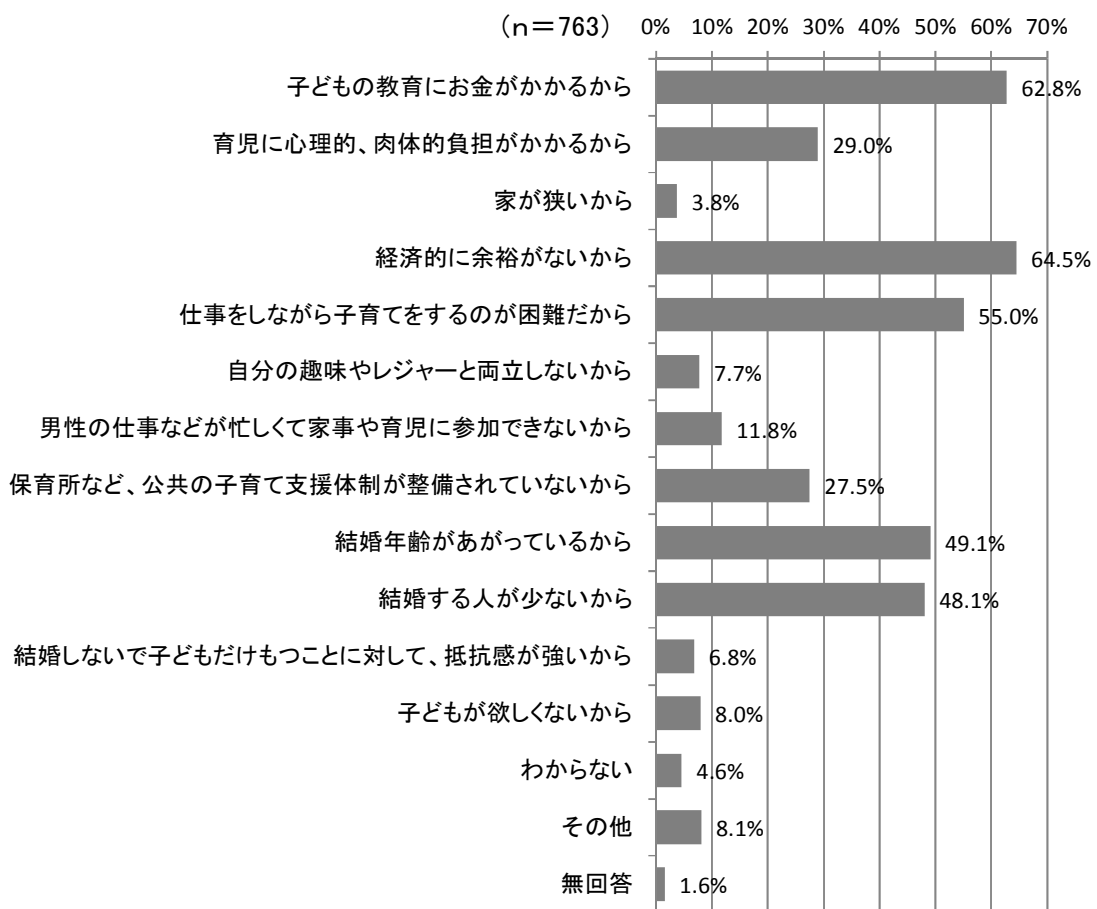


4. 子育てや介護について

問6. 全国的に少子化が進んでいますが、沼田市においても年々出生率が低下し、平成15年の出生数は503人でしたが、25年には339人に減っています。その理由は、どのようなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

「経済的に余裕がないから」と回答した方が64.5%、「子どもの教育にお金がかかるから」の62.8%となっており、金銭的な理由が上位を占めています。続いては、「仕事をしながら子育てをするのが困難だから」が55.0%、「結婚年齢があがっているから」が49.1%、「結婚する人が少ないから」が48.1%となっています。



<その他の回答>

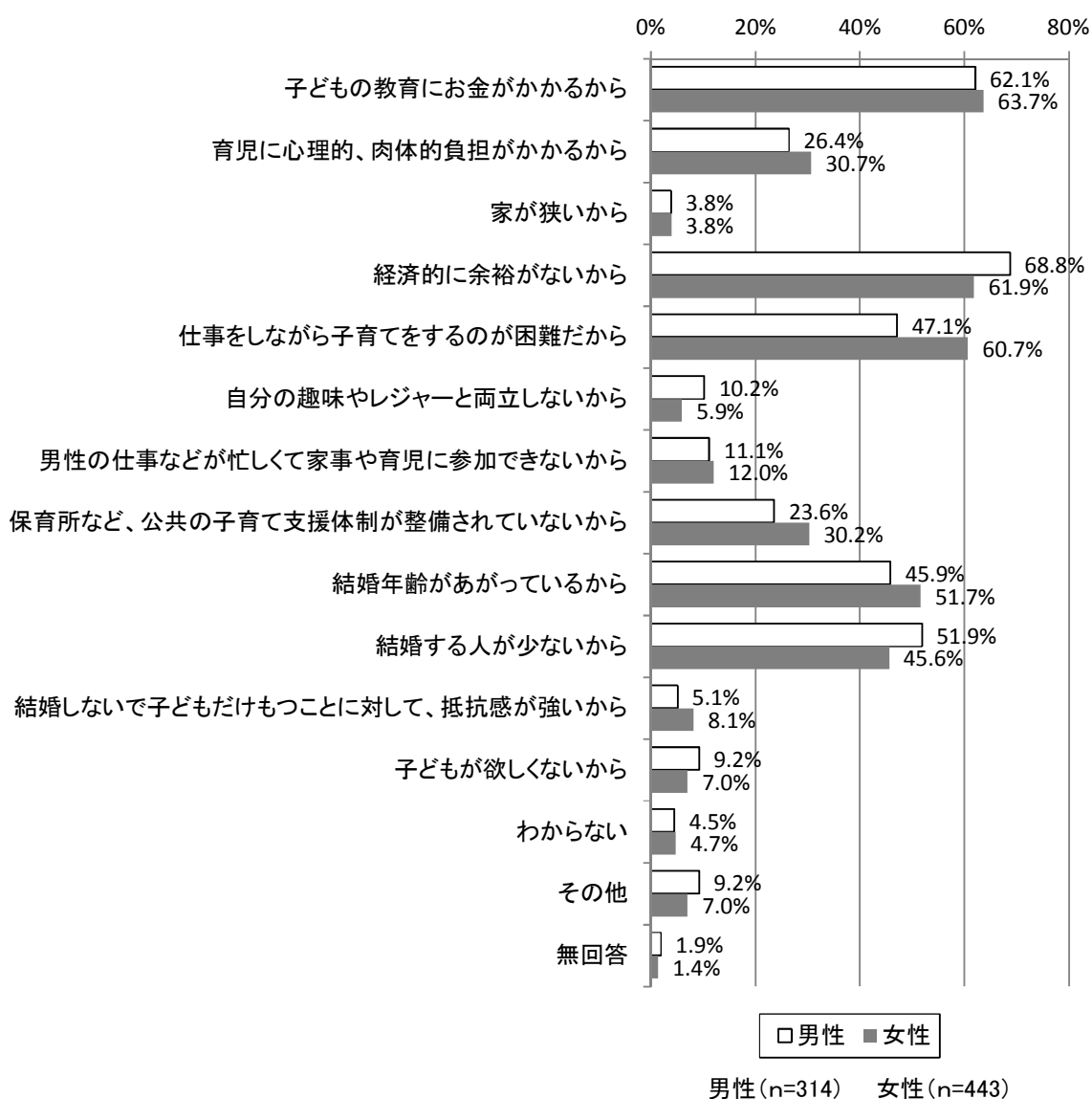
- 産婦人科を扱っている病院が少なく、選択肢が限られているから。(沼田市内の産婦人科医院、産婦人科医の減少)
- 自分の楽しみを優先するために、国(社会)を大切にするという意識が低下してきている。
- 仕事が無い→金が無い→結婚できない。
- 出産適齢期の男女の人口が減っているから。

- 子供は国の子としてもっと子供を持つ人の事を中心に政治をしないと、国の滅びる元になる。(沼田市も同じ)
- 子供1人以上には国で育てるようにする。
- 将来を考えたら子供が大変そうなので。
- 相手の長所を見つける「見識」の欠如。
- 職が無い。若者が精神を病む。お金が無い。自信が無い。社会の底辺をみてください。悲惨です。ニート、ひきこもりは必然的なのです。子供が少ないと言いますが、ネグレクトなどで失ったり、若いうちに精神的に辛くなる次代です。どうお考えですか？
- 産婦人科(産めるところ)が不安定、少ない。(例)来年度利根中がどうなるかなど・・・保育園中はよいが、小学校に入ると希望した学童に入れない。
- 働き場所が少ないので、もっと仕事と子育てを両立できる場所へ出てしまう？
- 制度・経済ではなく、自然環境に不安があるから。
- そもそも沼田市の人口が少ないから。
- 育児休暇を心よく思わないバカな社長がいるから。
- へたれが増えた。
- 子供は社会の子という考え方が薄い。結婚に対して多様な考え方が認められているから。
- 若い人たちが市外に行ってしまうから。
- 先が不安。
- 沼田市の場合、若い人の人口流出が大きいと思う！！学業の為、市外に出たら戻りたいと思う市になってほしい。仕事の無いのが大きい問題かもしれない。あってもブラック企業で定着していないようだ。
- 不妊の人もあると思う。で！！不妊治療にお金がかかる。
- 環境・経済等、未来の日本に希望が見出せない。
- 保育所の保育料が高く、子供を預けて働くのが大変。
- 沼田市は前橋市などに比べて非常に妊娠から出産・育児に対して不安に思うことが多く、子育ても非常にしづらいと実感している。
- 自分のことだけで未来のことまでは・・・余裕がない？
- 人口そのものが減っているから。

問 6. 少子化の理由 (男女別)

男女の回答に差のあるものは、「仕事をしながら子育てをするのが困難だから」で男性よりも女性の方が 13.6 ポイント高い回答となっています。また、「保育所など、公共の子育て支援体制が整備されていないから」や「結婚年齢が上がっているから」でも男性よりも女性の方が高い回答となっています。

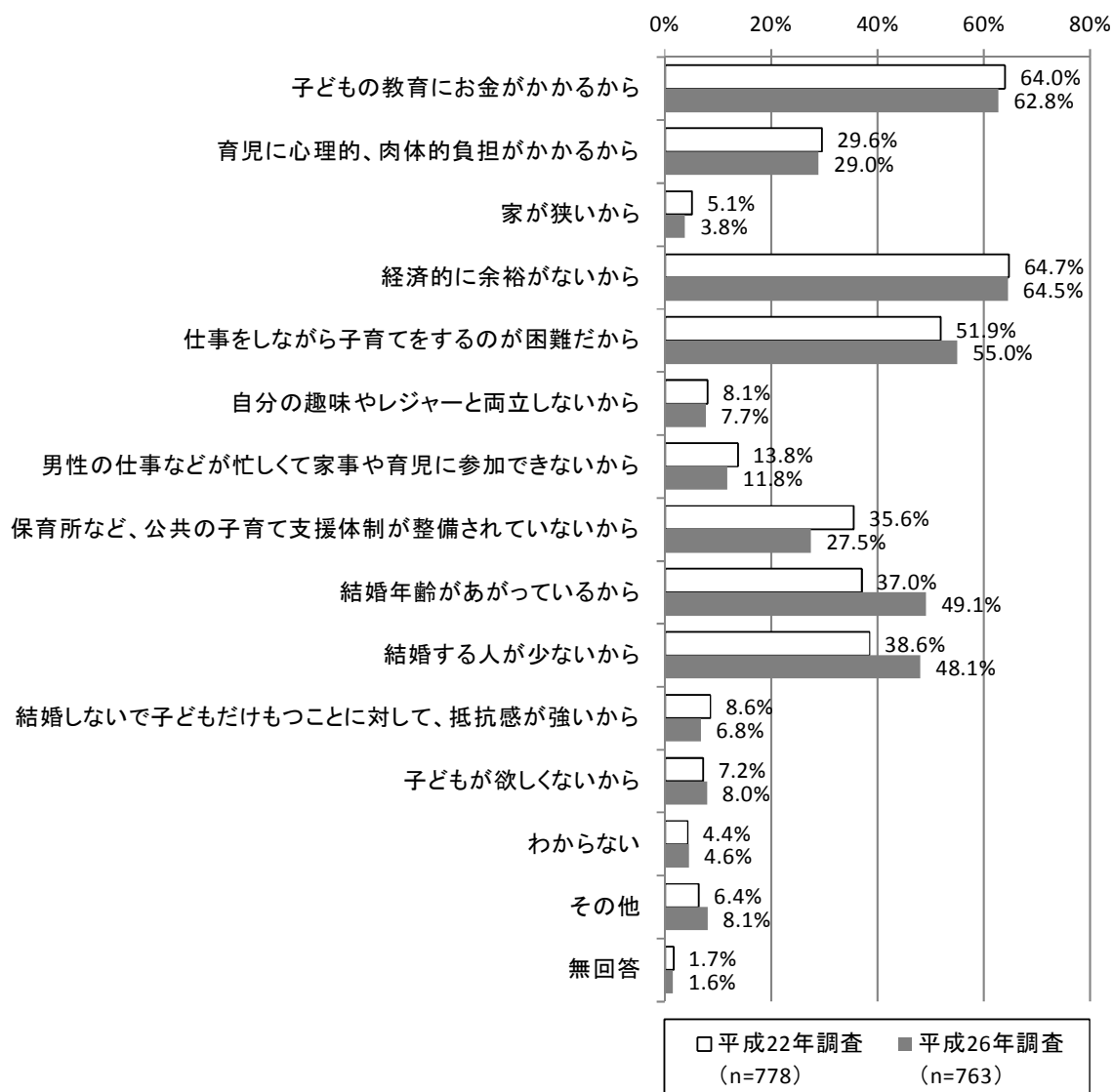
女性よりも男性の方が高い回答となっているものは、「経済的に余裕がないから」や「結婚する人が少ないから」となっています。



問 6. 少子化の理由 (前回調査との比較)

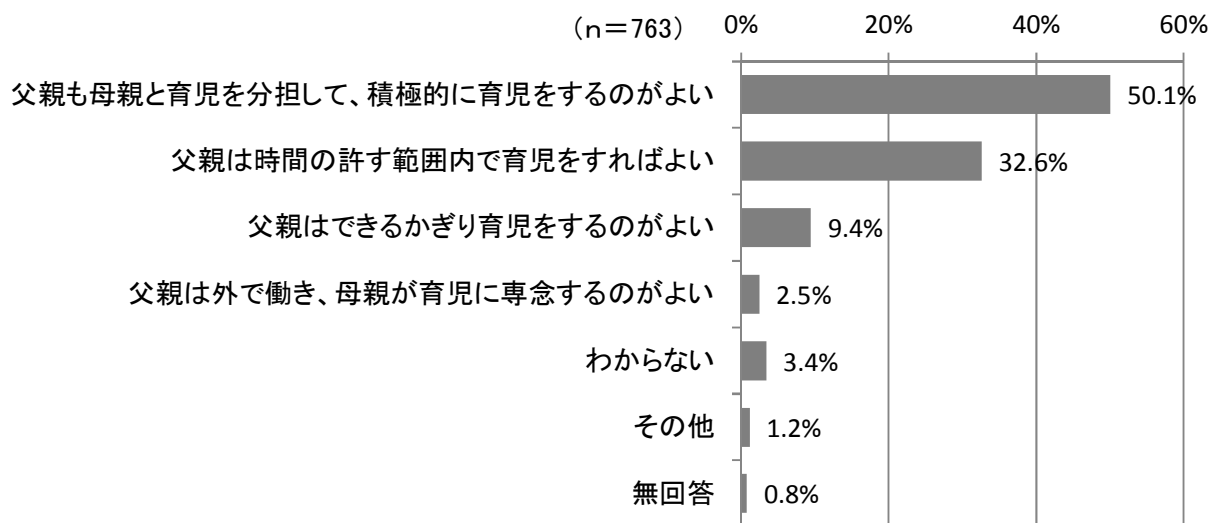
前回調査より回答の割合が高くなっている項目は、「結婚年齢があがっているから」が 12.1 ポイント、「結婚する人が少ないから」が 9.5 ポイント高くなっています。

また、回答の割合が低くなっている項目は、「保育所など、公共の子育て支援体制が整備されていないから」が 8.1 ポイント低くなっています。



問7. 父親の育児参加について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください（1つだけに○）

「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」と回答した方が50.1%と最も多く約半数となっており、続いては、「父親は時間の許す範囲内で育児をすればよい」の32.6%となっています。また、「父親は外で働き、母親が育児に専念するのがよい」と回答した方は2.5%となっています。

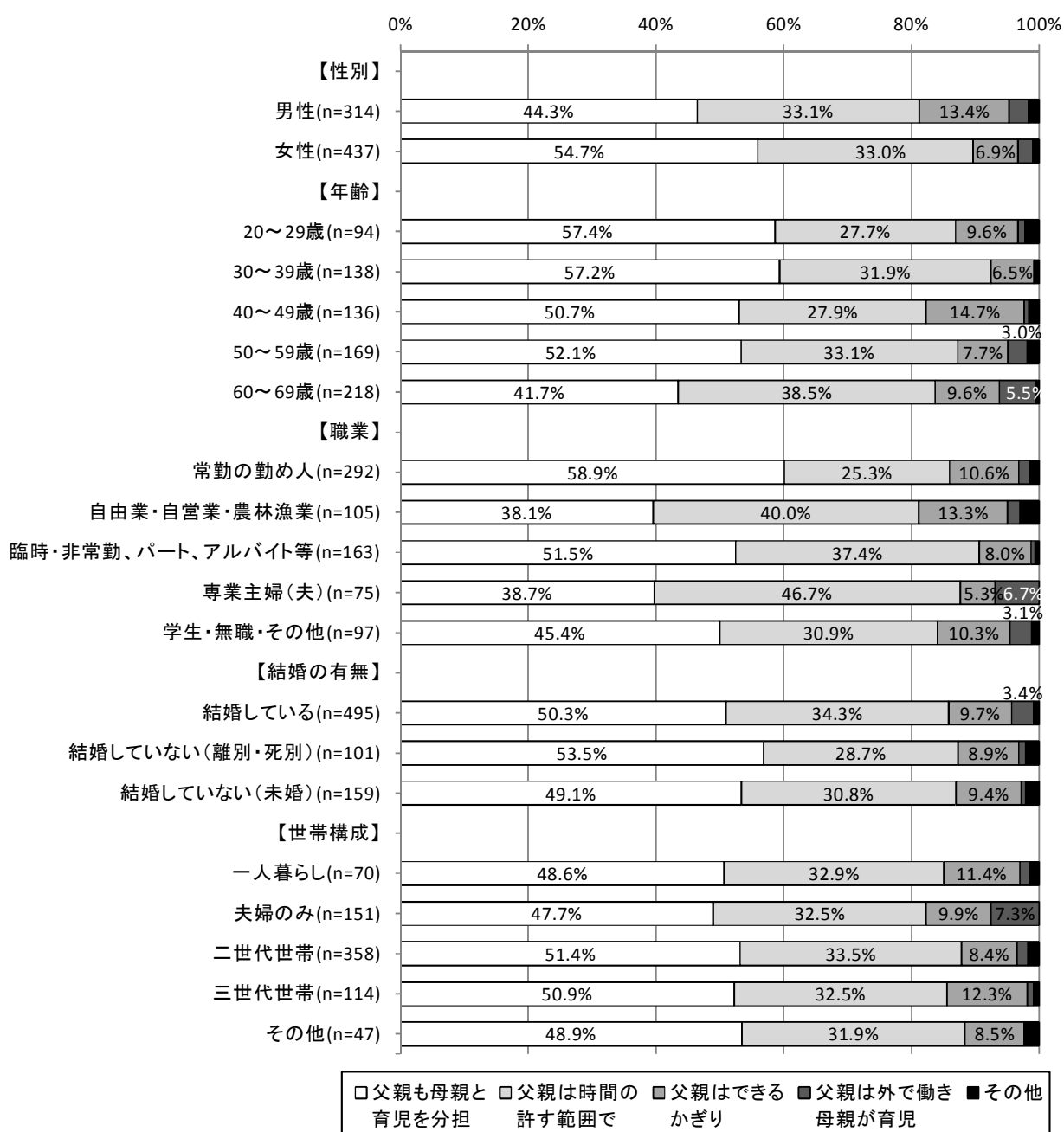


<その他の回答>

- 父も母も協同して育児すべき(分担ってどういう意味ですか?)。
- 母親の方が稼げるのなら逆でも良い。
- 女性の意識が低いので変わらないと難しいと思います。
- 男性も職場で有休を取りやすくなればよい。また、歩合制の給料の廃止、月給制へ。
- しばらくこの社会情勢であれば、男性は仕事優位に決まっている。

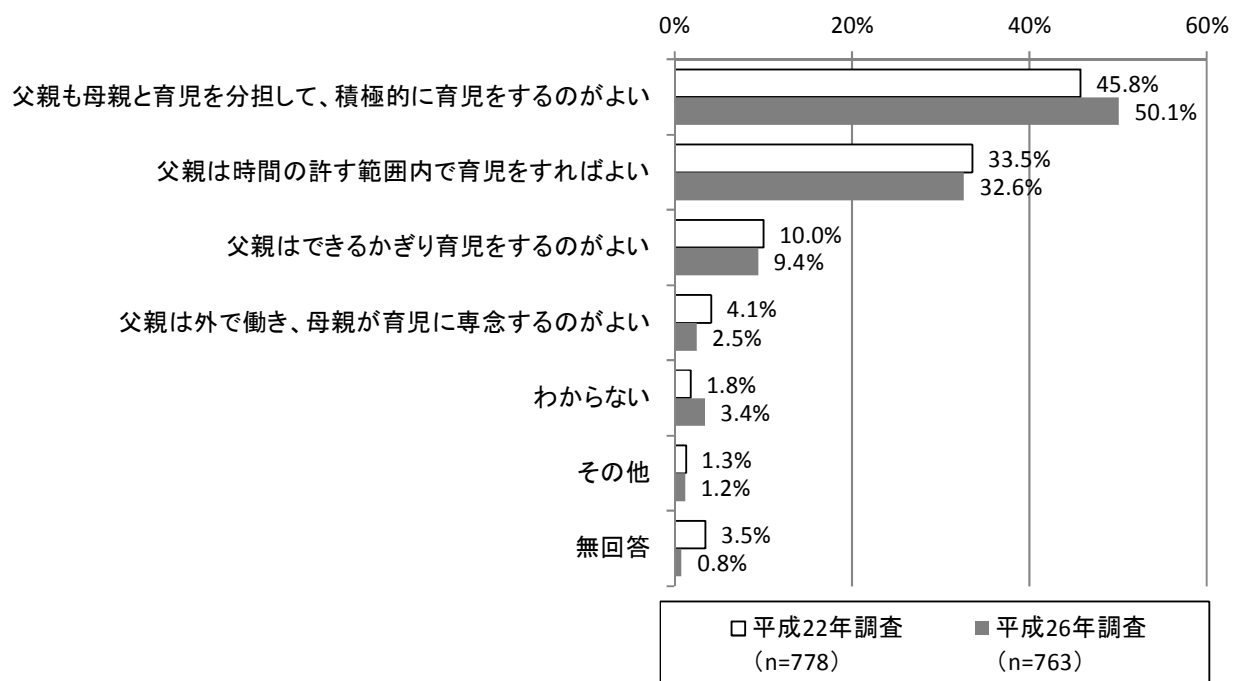
問7. 父親の育児参加について (属性別)

父親の育児参加については、男性より女性の方が「父親も母親と育児を分担」の割合が高くなっています。また、年代では、40歳未満で「父親も母親と育児を分担」の割合が高く、「60～69歳」で「父親は時間の許す範囲で」の割合が高くなっています。



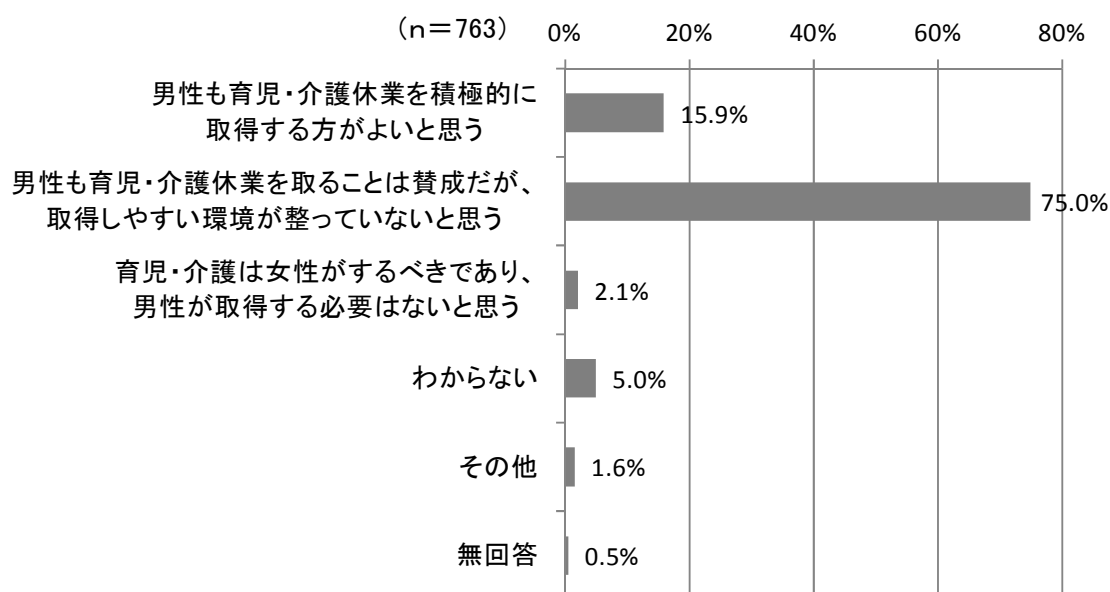
問7. 父親の育児参加について（前回調査との比較）

前回調査より回答の割合が高くなっている項目は、「父親も母親と育児を分担して、積極的に育児をするのがよい」が4.3ポイント高くなっています。



問 8. 育児や介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度が「育児・介護休業法」により定められています。あなたは、男性の育児・介護休業の取得について、どのようにお考えですか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。（1つだけに○）

「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、取得しやすい環境が整っていないと思う」と回答した方が 75.0%と最も多く、4 人に 3 人の方が回答しています。続いては、「男性も育児・介護休業を積極的に取得する方がよいと思う」の 15.9%となっています。また、「育児・介護は女性がするべきであり、男性が取得する必要はないと思う」と回答した方は 2.1%となっています。

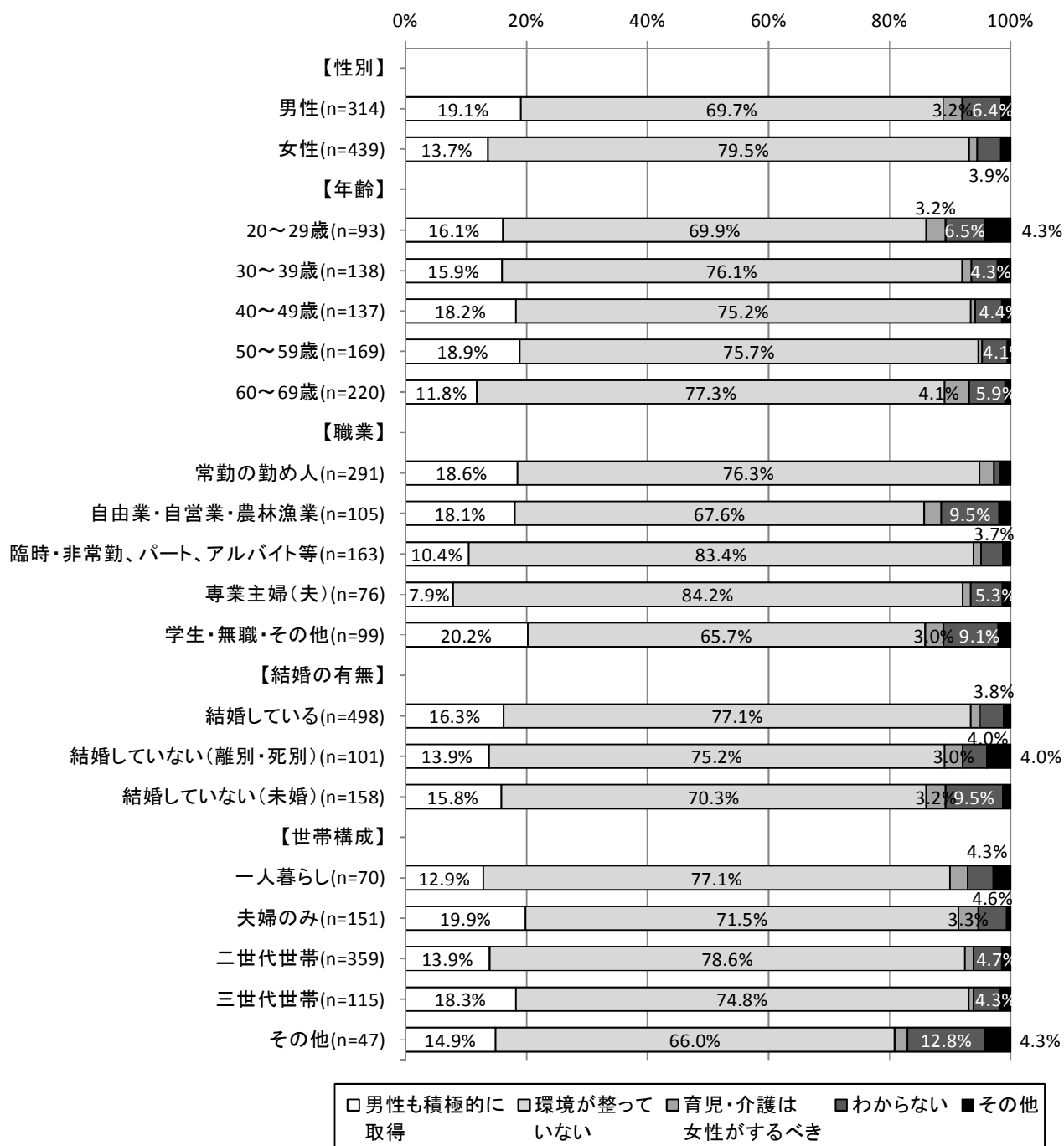


<その他の回答>

- 家庭環境やその時の状況による。
- 全員にあてはまるわけではなく問7と同じでその家庭で必要であればとればよいと思う。
- 沼田あたりでこんな制度は有名無実。私の会社は社保すらない。
- 若い人の事です、それは育児昔は親がみてやれた今は別で仕事するので介護ですがいい親子で近くに住み、決まり事作る事でやって行ける。遠い所へ住む人は育児介護になります。
- 男性は時間のゆるすべし協力すべし。
- 職種によってどうしても違うのでわからない。
- 男性の仕事は休めるほど生優しい物ではない。責任の重さが違う。女性がするべきとも思わない。
- 取得には賛成だが、経済的に厳しいと思う。
- 3. に近いが男女のどちらか一方にしたほうがよいと思う。
- 仕事の内容によっても異なるので一概に言えない。
- 男性も育児・介護は参加した方がよいと思うが、仕事を休んでまでする必要はないと思う。

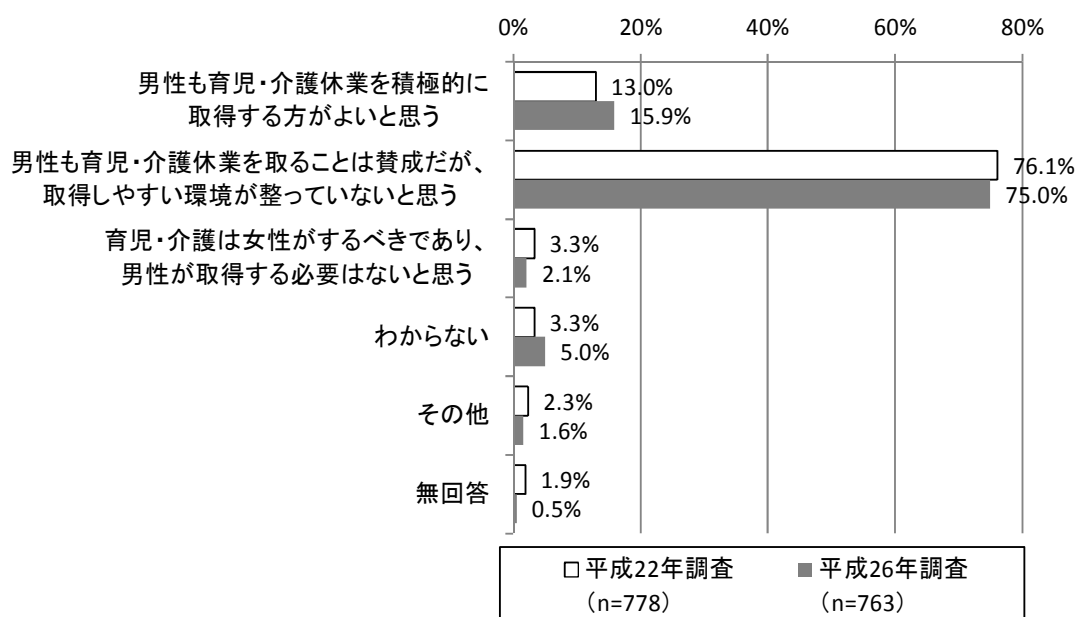
問8. 男性の育児・介護休業の取得について (属性別)

男性の育児・介護休業の取得については、あまり大きな差はありませんでした。



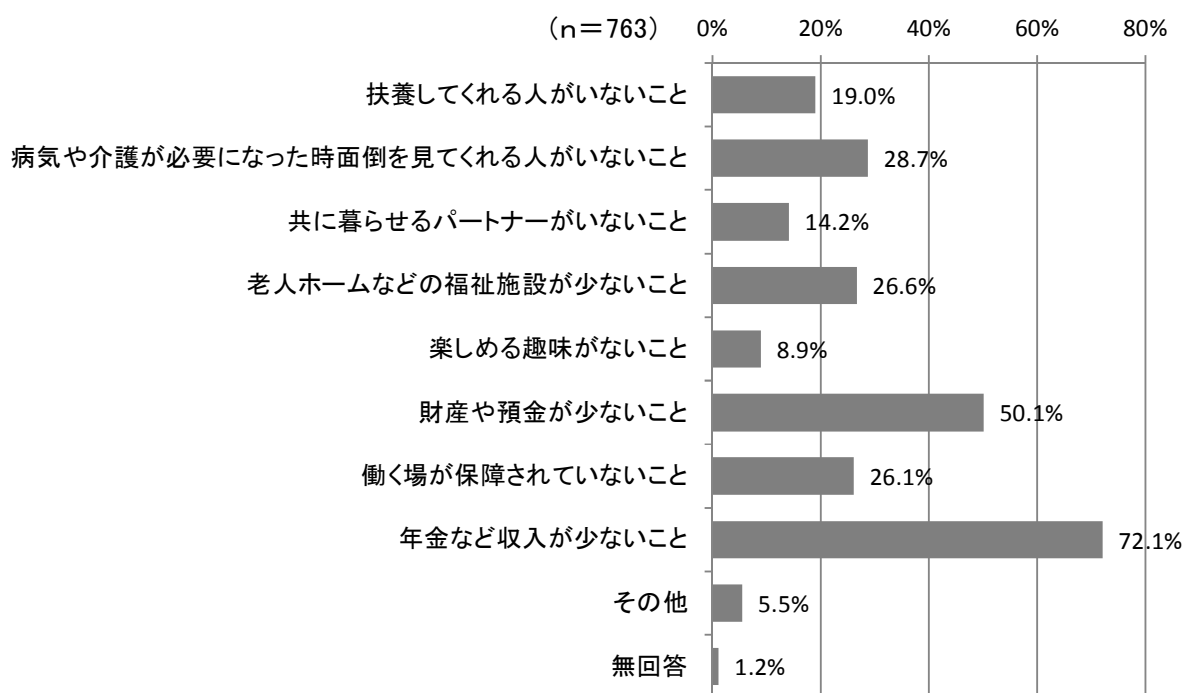
問8. 男性の育児・介護休業の取得について （前回調査との比較）

前回調査より回答の割合が高くなっている項目は、「男性も育児・介護休業を積極的に取得する方がよいと思う」が2.9ポイント高くなっています。



問 9. 沼田市の高齢化率（総人口に対する 65 歳以上人口の割合）は高く、平成 17 年では 23.4%でしたが、平成 26 年には 28.6%と上昇を続けていますが、あなたは、老後の生活にどのような不安を感じますか。（○はいくつでも）

「年金など収入が少ないこと」と回答した方が 72.1%と最も多く、続いては、「財産や預金が少ないこと」が 50.1%と約半数となっており、経済的な理由をあげています。その他の回答としては、「病気や介護が必要になった時面倒を見てくれる人がいないこと」の 28.7%、「老人ホームなどの福祉施設が少ないこと」の 26.6%となっています。



<その他の回答>

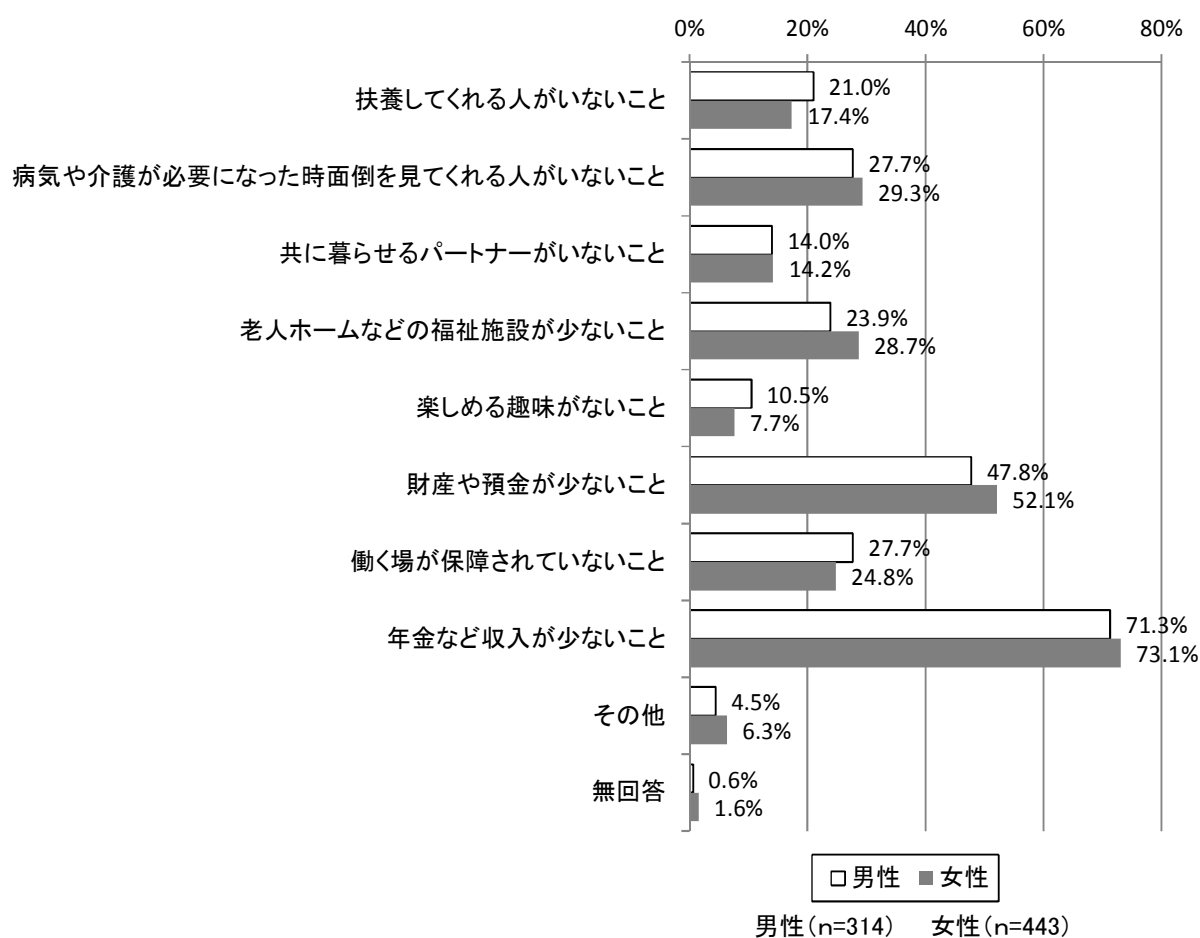
- 不安を感じていない。
- 病気、けがなどで体が不自由になってしまう事への(なった時の)不安や心配。
- 病気や介護が必要になった時、最低額年金で入所できる福祉施設が欲しいです。
- 健康。
- 主として経済的な事だと思います。
- 子供に迷惑をかけたくない。
- 低価格な施設が少ないのでは？
- 老後元気に暮らせない病院に長くなると家庭もやって行けなくなる。施設も少なく、2年以上長くなると、本人も○まるので何とか届けを出して楽に成った方がよいと友達も言っている。

- 国民年金をずっとかけていたのですが、あまりに少ししかもらえないのでびっくり。年金制度を考え直してもらいたいです。これからの人の為にも。
- 緊急の時に良い医師、医療施設が近くにない。
- 通院するための交通手段が不便なので自家用車に頼るしかないこと。
- 自分と妻の両親の介護、老老介護。
- 子供がいても子供に面倒は見てもらえない。
- 車の運転が出来なくなった時の交通手段、また、買い物した時の重い荷物の運搬など。
- 病気。
- 老後の心配する人は、余裕がある人です。今の情勢が辛いですから。
- 子供が1人だけなのでその子に負担がいく。
- その時になってみないと考えられない。
- 子供に世話に成る事が出来にくい。
- 高齢者でも働く場所の確保。
- 不安はない。
- まだ、具体的に考えていない。
- 医療制度に対する不安。3ヶ月での転院はなぜ？
- 体が動けるか。
- 雪かき等労働力不足。
- 長生きをしたくない。
- 後継者がいない事。
- 死後の処理をどうするか。
- 健康面の維持。
- サポート体制が非常に悪そう。
- 今は自分の好きな事をやっていて不安はない。
- 公的な福祉施設が少なすぎる。もっと積極的に作ってほしい。
- 特に不安は感じない。
- 子供達は皆、県外で住み働いている事。
- 健康面。
- 老人ホームなどの施設、料金が高い。
- あまりまだ感じない。

問9. 老後の生活の不安 (男女別)

男女の回答に大きな差はありませんが、中でも男性より女性の回答が高いものは「老人ホームなどの福祉施設が少ないこと」や「財産や預金が少ないこと」となっています。

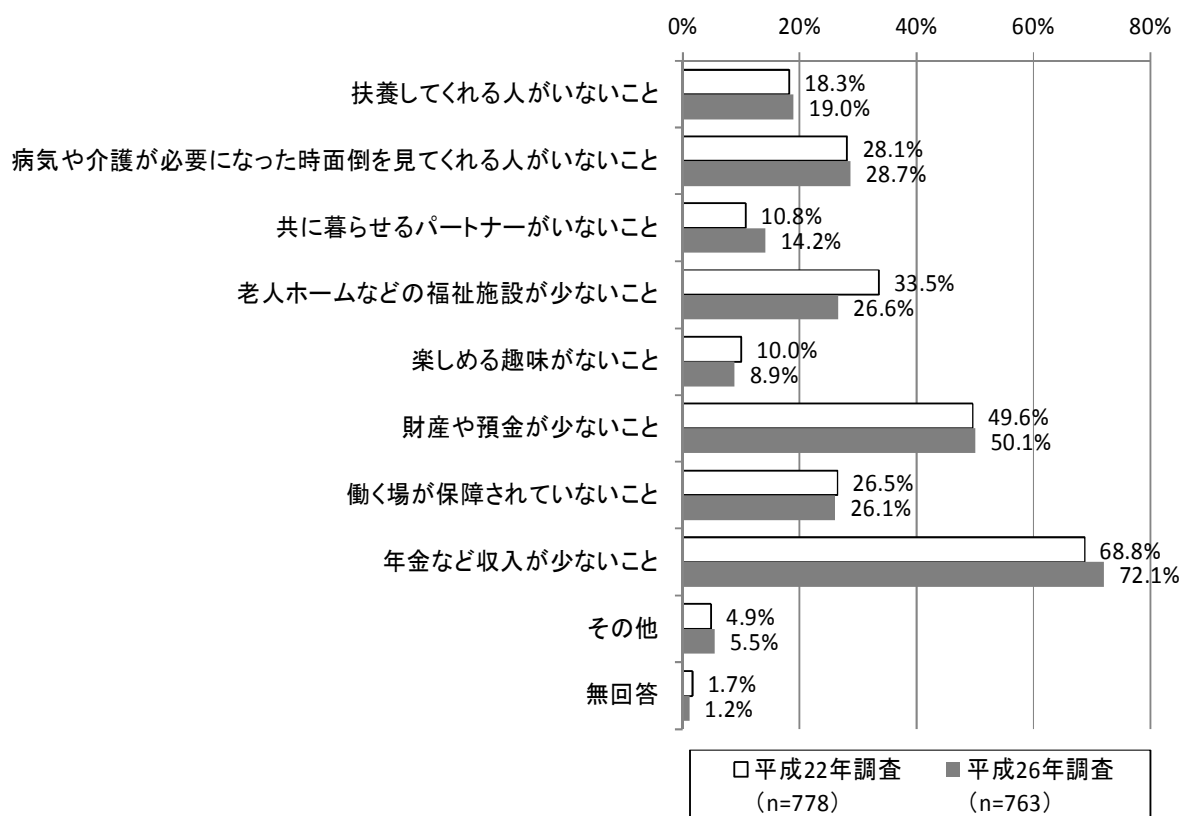
また、女性より男性の回答が高いものは、「扶養してくれる人がいないこと」や「楽しめる趣味がないこと」となっています。



問9. 老後の生活の不安（前回調査との比較）

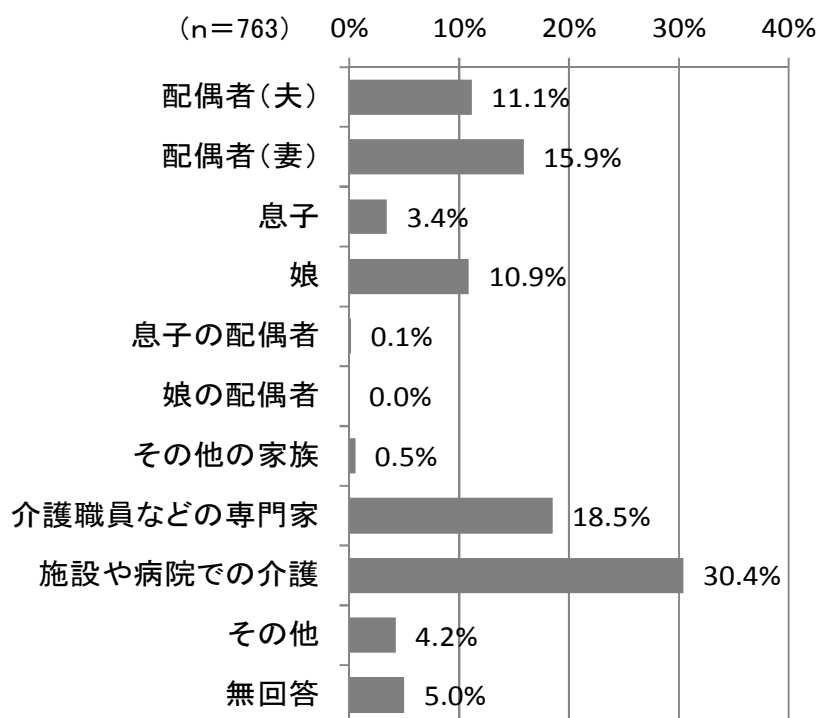
前回調査より回答の割合が高くなっている項目は、「共に暮らせるパートナーがいないこと」が3.4ポイント、「年金などの収入が少ないこと」が3.3ポイント高くなっています。

また、回答割合が低くなっている項目は、「老人ホームなどの福祉施設が少ないこと」が6.9ポイント低くなっています。



問 10. 国民生活基礎調査では、介護者の 68.7%（平成 26 年 7 月厚生労働省発表）が女性という実態が示されています。あなたは、介護が必要になった場合、誰に介護をしてもらいたいと思いますか。（1 つだけに○）

「施設や病院での介護」と回答した方が 30.4%と最も多くなっており、続いては、「介護職員などの専門家」の 18.5%、「配偶者（妻）」の 15.9%となっています。



<その他の回答>

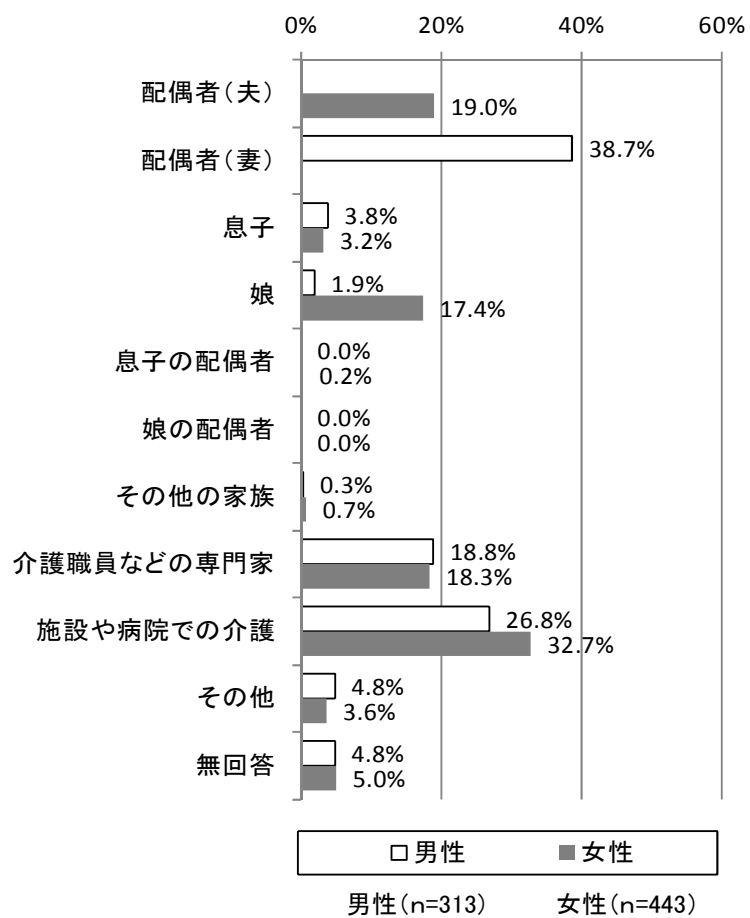
- 介護してくれる人もいない、施設に入る金もない(のたれ死に)。
- 多分見てくれるとは思いません。
- おばすて山。
- 4 と 8 のミックス。
- 自分の子供なら息子でも娘でもどちらでもよい。
- 誰でも。
- 介護されたくない。
- 妹。
- 頼める人がいません。
- 施設で 15 万です。1 年でやって行けません。年金は 6 万ですのでとても困りました。
- 老人施設。

- 働いている子供たちには頼む事が難しいと思います。
- 自分で死にます。
- 妹、姪。
- 誰でもよい。
- 妻、子供で分担。
- 姪。
- 家ぞくや介護職員関係なく、心の良い人。
- できるならばだれにもめいわくをかけたくない。
- その時の状況に応じて。
- 介護されるような生き方、年の取り方をしたくない。
- 独身なのでイメージ出来ない。
- 思い浮かばない。
- 介護されずになんとかやりたい。
- 考えられない。
- 友人。

問10. 介護してもらいたい方（男女別）

男性より女性の回答が高いものは「娘」が15.5ポイント高くなっています。

また、女性より男性の回答が高いものは、「配偶者（妻）」が19.7ポイント高くなっています。



問10. 介護してもらいたい方（前回調査との比較）

前回調査より回答の割合が高くなっている項目は、「施設や病院での介護」が 5.8 ポイント、「介護職員などの専門家」が 4.9 ポイント高くなっています。

また、回答割合が低くなっている項目は、「配偶者（妻）」が 8.4 ポイント、「配偶者（夫）」が 3.8 ポイント低くなっています。

